編輯室の内外

燒くが如き炎熱突如帝都に襲ひ來り流汗將に衣を搾らしむるのであるが、戰場に在る將兵の身の上を思へば事何ぞ輕微なるとひそかに元氣を鼓舞しつゝ編輯に從ひ漸く八月號の刊行を見ることを得た。非常事變下の克已奮勵は吾れ人共に怠つてはならぬことである。

支那蔣政權膺懲の戰は次第に進捗し今や漢口の陷落も近きに迫りつゝあるの際、南京其他揚子江下流地方在留英米人の占領地復歸問題が圓滿解決したと聞く寔に同慶の至である、之れに反して不法にもソ聯の張鼓峯越境行爲に加ふるに益々國境近くに增兵戰備を施しつゝありと果し然るか平和を無視し、思想を攪亂する狂態を演ずるとは何たる事か。

六月十三日拂曉滿ソ國境間島省琿春警察隊前方に立ちこめた朝霧の中に突如として姿を現はしたのはソ聯の極東地方内務人民委員部極東政治部總揮官三等大將リユコフであつた、スターリンの苛酷殘虐極まる肅淸工作の危險が身邊に迫り來れるを悟り越境入滿したものである。スターリンの寢覺や如何。

ソ聯の出來事を聞くと必らずゲ・ペ・ウ軍隊の動向を思はせらるゝが其のゲ・ペ・ウとは如何なる軍隊か、泣く子も止むといふゲ・ペ・ウとは一體何か、普通國家政治保安部又は公安局と云はれて革命當時は全露非常委員(ヂエチエカ又單に略してチエカともいふ)と云ひ、反革命運動、ソヴエト政權の對策に對するサボタージユ、投機その他の犯罪を取締るため、革命混亂時代に組織され、特別の軍隊を有する所謂革命期の赤色テロの本部である。最初の組織者は故ゼルジンスキーで各地にその支部があり市民戰慄の的となつてゐた、一九二一年國内戰爭の終熄、と新經濟政策の施行と共に犯罪檢擧と處罰に對する絕大なる權力をやゝ緩和しゲ・ペ・ウと改稱した、併しゲ・ペ・ウの恐るべき行爲は外國から非難されたので、ソ聯では對外工作の一方便として一九三四年七月内務人民委員部を新設し、その一部に包含するに至つた。ソ聯では、一般軍隊の外にゲ・ペ・ウの軍隊があり、その數約十五萬といはれ、專ら國内の反革命反亂の鎭定、交通の保護、國境警備に當る外普通軍隊にも入つて軍紀を監視してゐる。その外輸送軍隊があり約七、八萬人ゐる、現在のゲ・ペ・ウの總元締はエジヨフである。

戰に馴致された蔣介石は生涯抗戰するも敢て奇とするに足らないが、平和を愛し親睦に親しむ我國民に取つては遺憾千萬である、去りとて徹底的に戰ひ拔くの膽力と勇氣は充分に具備して居る、如何なる長期戰にも耐へ得る軍事資材の調達の爲めには飲まず食はずとも辭しないのが日本國民である總動員法も發動すべし、產業も生活必要品も統制すべし、新東洋の建設こそ我等の負擔する一大使命である、國民全部の濟は既に已に固められて居る。

關東關西に生じた水禍の慘況は實に激甚を極めた、人畜財貨の喪失言ふに堪へざるものがある、内相の報告に依れば其損害は關西地方二億七千萬圓、關東地方一億五千萬圓合計四億二千萬圓の巨額であると、嗚呼水禍の崇り何ぞ甚しきや。

素晴らしい勢ひで發展する都市と軍需工業の影響を受けて近年東京灣には各河川から流れ出す汚水、工場の油脂が浮んで海水は極度に汚濁、魚は遠く逃避し關東名產の海苔も大打擊を蒙り昭和二、三年九百萬圓の產額をほこつたのも今は全く夢物語りで最近はその半額にも達せず、水產業者は長い間悲鳴を擧げてゐた――こゝに遲れ走せながら東京府、市、神奈川、千葉兩縣、橫濱の一府二縣二市の關係當局はいよ〳〵これが對策を確立するため今回聯合して東京灣水質保護協會を結成して水質汚濁の狀況その原因、被害の調査、淨化に要する諸施設の改善充實並にこの被害に基く爭議の調停解決等を協會の事業として行ひ沿岸庶民の保健衞生を計ると共に水產業の振興に邁進することとなつた。東京灣惡水の退治も近きにあるか。(洮民)

定價一部　五十錢
一ヶ年分　金六圓

東京市麴町區霞關一丁目内務省内
發行所　社團法人　道路改良會
電話銀座(57)四二七

東京市世田ヶ谷區代田壹丁目七八〇番
發行兼編輯者　小島效

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所　常磐印刷所
印刷者　奈良直一